

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	24	事業名	古戦場公園再整備事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	古戦場公園再整備基本計画	9-4-6 文化財費	
	事業開始の背景、経緯等	昭和14年に国指定史跡に指定された長久手古戦場は、「史跡長久手古戦場」として貴重な文化財を有している。古戦場野外活動施設の活用の方の見直しも含めて一帯を有効活用し、歴史の学びの場、体験の場及び交流の場の拠点となるよう古戦場公園を再整備する。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) かつて野戦場であったこの地を、長久手の歴史をキーワードとした交流の場として蘇らせ、長久手市の大地に根ざした日常の営みの魅力を発揮し、観光振興に繋げると共に、第5次総合計画のまちの将来像である「人が輝き緑があふれる 交流都市 長久手」のまちづくりに貢献する事業である。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 国指定史跡を含む古戦場公園一帯
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国指定史跡「長久手古戦場」について、日本史上においても重要な位置づけがなされるべきその歴史的価値を見出し、野戦場であった当時の合戦の有様を再整備によって再現し、ここを訪れる人に思い描いてもらえるようにする。

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	事業費(A)	千円	予算	44,773	52,602	164	10,460	42,335
			決算	44,105	49,316	2	10,377	
	人件費(B)	千円	決算	4,213	7,380	5,620	5,691	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	48,318	56,696	5,622	16,068	
	事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	施設		1	1	1	1	1
	対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		24,512	36,523	36,879	26,129	

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	再整備後の古戦場公園の史跡を保存・活用するために、活動してくれる市民の確保人数	人	目標	—	—	32	32	32
			実績	—	27	0	45	
	(指標の設定根拠) ・再整備後の古戦場公園では、主体的に考え、行動することができる市民団体が運営に不可欠であるため (前年から指標を変更した場合はその理由) (前年までの指標)	(数値目標の根拠) ・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、令和3年度と同様に、再整備後の古戦場公園で活動することができる市民の確保人数を目標とした。						

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和5年度に「小牧・長久手の戦い」に特化したガイダンス施設の建設工事に着手することが決定され、令和7年度中の供用開始を目指す。施設の運営を担うことができる市民を今後もワークショップ等を通じて増やしていく必要がある。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度は、コロナ禍で古戦場公園再整備事業に関するワークショップを2回しか開催することができなかった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 市民の中からファシリテーターを育成し、市民主体で意見交換・活動できるようにしていくことや積極的な発言をしない一般大衆の声をいかに集約・反映させる取組ができないか、オープン後の運営を任せていくことで重要であると考えている。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	古戦場公園再整備事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	100	120	500	500	500
			実績	60				
	(2) 【アクションプラン】 整備工事の進捗率	%	見込	6	8	27	61	94
		実績	6					
			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・市民参加の延べ人数は、ワークショップ参加延べ人数とする。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、ワークショップを2回しか開催することができなかった。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	事務事業②							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
		実績						
			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する 事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
		実績						
			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 史跡長久手古戦場の貴重な文化財を魅力ある形で整備して保存する。また、本市の歴史民俗文化を後世に広く、永続的に継承していくために、本事業内容を経過も含めて広く周知する。
	中長期の目標	(いっごまで事業をどのような状態にしたいか) 供用開始予定である令和7年度までに、古戦場公園を再整備し、市民活動組織を立ち上げ、施設運営の一部を担ってもらう。

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・市の財政状況を鑑み、最適な内容、手法を選択し、事業費全般の圧縮に努めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。
	内部意見への回答	